

## 政策立案に不可欠な**観光統計**

効果的な観光政策の立案には、観光の正確な実態把握が不可欠。こうした大前提のもとで、なくてはならないのが観光統計です。実態把握では他者との「比較」が重要であり、例えば他の国々との比較を可能とするためには、世界共通のルールに基づいた観光統計の整備が求められます。

## 観光統計には**国際基準**があります

世界各国の観光統計が共通ルールに基づいて整備されることを目指し、国連は「観光統計に関する国際勧告」を発行しています。日本もこの勧告に準じて観光統計を作成しています。

## 観光統計**国際フォーラム**が定期的開催されています

OECD・Eurostatが主催する「Global Forum on Tourism Statistics (観光統計に関する国際フォーラム)」は、観光統計の整備と普及、開発に関する各国の知見や経験を定期的に交換するためのプラットフォームです。1994年に初めて開催された後、近年は2年に1回のペースで開催されています。

2018年11月、15回目となる同フォーラムがペルーで開催され、当財団研究員が日本の取り組みの成果を報告しました。今回のギャラリー展示では、このフォーラムの様相を紹介します。

写真：マチュピチュ（ペルー）

# 世界の観光統計

Global Standard of Tourism Statistics

国際フォーラムにおける最新の議論動向と  
当財団による発表内容の紹介

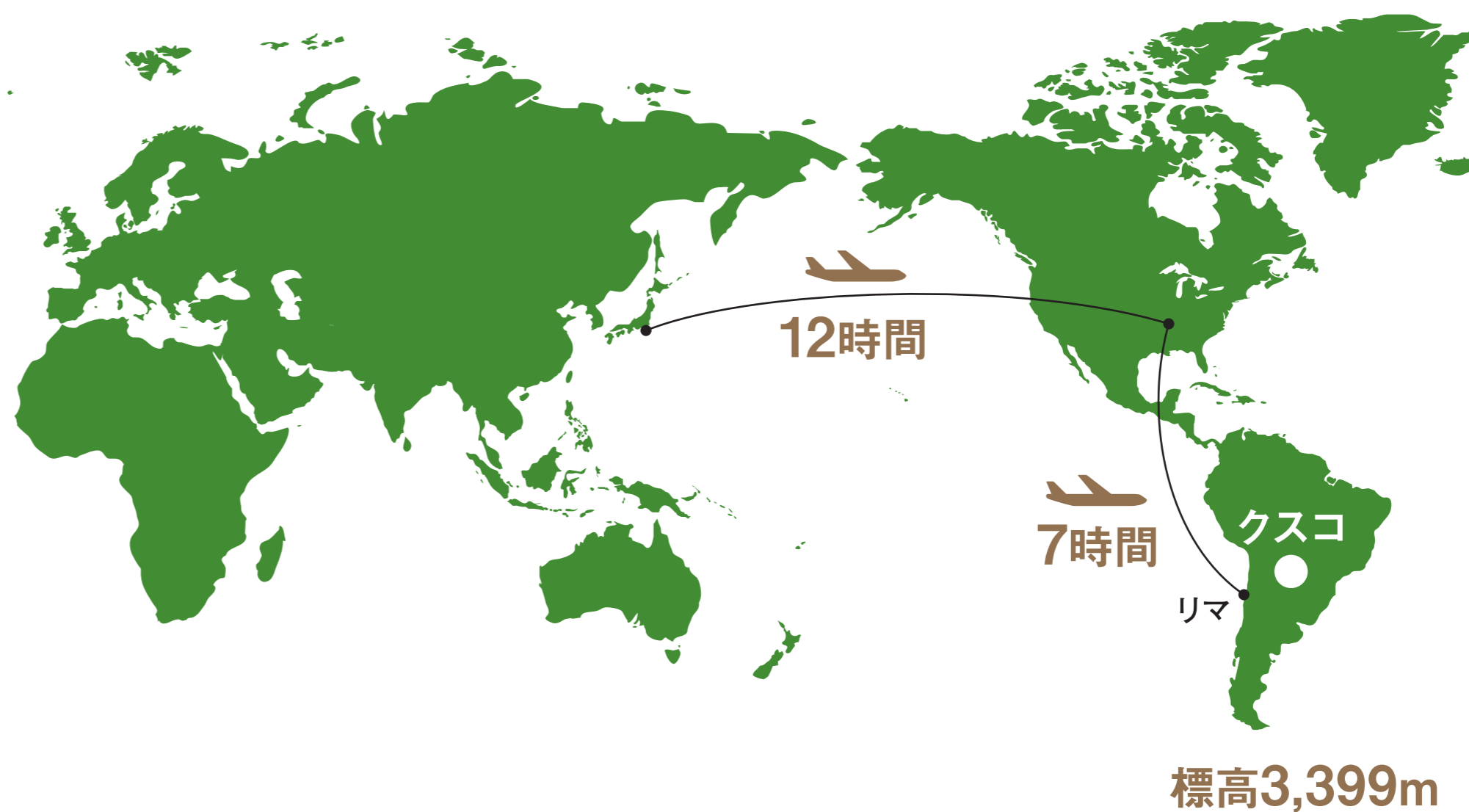


# 国際フォーラムにおける最新の議論動向

## 15th Global Forum on Tourism Statistics

2018年11月28～30日 クスコ（ペルー）

“Global Forum on Tourism Statistics”とは、OECDとEurostatが主体となって隔年で開催している観光統計に関する国際会議です。2018年はマチュ・ピチュの玄関都市クスコ（ペルー）で開催されました。各国の代表が集まって議論された観光統計をめぐる国際的な論点をご紹介します。



Session

1

### 地域観光統計の整備

Regional and sub-national tourism statistics

- ビッグデータの活用
- 調査・集計手法の改良

Session

2

### 観光の持続可能な発展と持続可能性指標

Sustainable Development Goals and sustainability of tourism

- 観光産業における持続可能な活動のモニタリング
- 環境容量に対する観光の影響測定

Session

3

### 携帯電話による位置情報の活用可能性

Innovative sources and mobile positioning data

- 通信事業者が保有するデータの活用課題
- 携帯電話の基地局情報による既存統計の補完手法

Session

4

### 共有経済における活動やその影響の測定

Measuring the activities and the impact of the collaborative economy

- シェアリングエコノミーを含む経済活動の把握
- 指標作成におけるオンラインプラットフォームの活用

Session

5

### 観光に係る経済指標の整備

Economic dimension of tourism

- 観光に係る付加価値貿易の測定
- 観光雇用の測定手法

クスコ旧市街（ペルー）



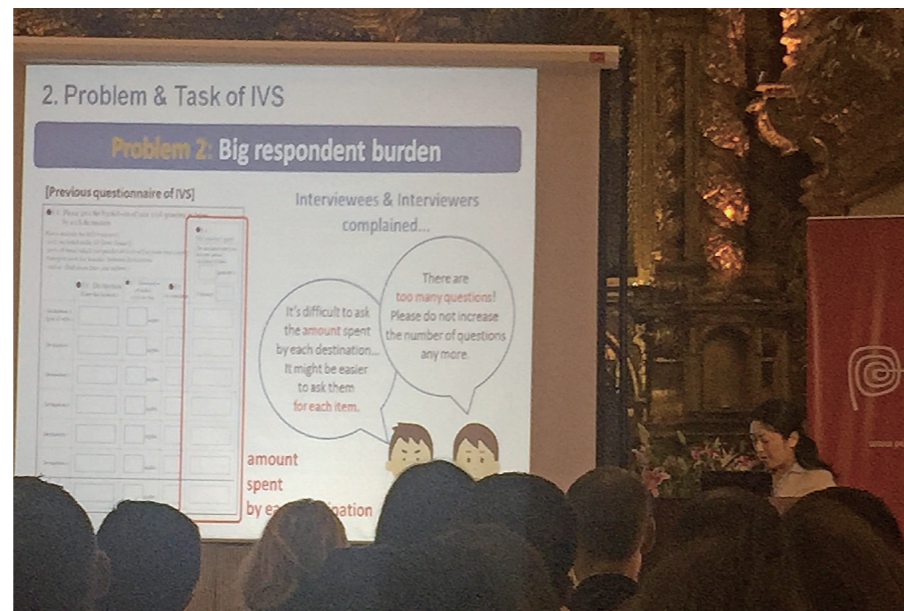


# 当財団による発表内容の紹介

## 日本における地域観光統計の作成を目的とした 国の観光統計の改良

～訪日外国人消費動向調査を中心に～

公益財団法人日本交通公社／川口明子、武智玖海人、川村竜之介 観光庁／木村順治、秋元賀晴、田村和哉

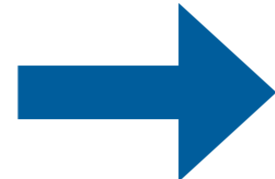


我が国と類似の取り組みをこれから進めようとしている国などから参考になった等のご意見をいただきました。

### 観光庁 「訪日外国人消費動向調査」 (総務省承認の一般統計調査)

課題

地方を訪れた外国人の調査票が十分に集められていない。



解決策

画期的な調査手法を採用した地域調査を新たにスタート!

## 1 新たなにスタートした地域調査とは?

- 調査地点: 全国25の空港・海港における国際線搭乗待合ロビー (従来調査では全国18の空港・海港で実施)
- 調査方法: 外国語での会話が可能な調査員による聞き取り調査
- 目標回収数: 26,174票 (四半期毎)

調査港を25箇所に拡大!



調査ではタブレット端末を活用





# 2 地域調査で採用した画期的な調査方法とは？



## 二相抽出法

～調査員聞き取り調査における新たな試み～

- 設問を「一相目」と「二相目」に分割します。
- 一相目の設問のみ対象者全員に回答してもらい、二相目の設問は対象者全員ではなく条件を満たした一部の人のみに回答してもらうことで、調査にかかる時間とコストを減らします。
- 郵送やウェブ調査で「二相抽出法」が採用されるケースはみられますが、調査員聞き取り調査では珍しいです。

### 調査票

**一相目**

●A2. 日本にはいつ入国しましたか。(数字で記入) 2 0

●A3. 今回の日本訪問の主な目的を選んでください。(ひとつだけ)

●B1. 今回の旅行手配方法を選んでください。(ひとつだけ)

●B2. パッケージツアー または 出発国と日本との往復航空(船舶)券の1人当たり料金をお答えください。(料金は数字で記入)

**二相目**

●C1. 今回の日本滞在訪問地毎に宿泊施設

訪問地	宿泊施設	宿泊費	飲食費	訪問地(都道府県)間の交通費			訪問地(都道府県)内の交通費			娯楽等サービス費	買物代	その他
				新幹線・鉄道	バス・タクシー	その他	鉄道・地下鉄	バス・タクシー	その他			
入国港	泊											
訪問地①	泊											
訪問地②	泊											
訪問地③	泊											
訪問地④	泊											
訪問地⑤	泊											
出国港	泊											

### 回答フロー

**一相目**

**回答者全員が対象**  
客層や訪問地に関する設問

**二相目**

外国人があまり行かない地方への訪問者を中心に質問  
訪問地別と費目別の旅行支出に関する設問

### 結果

調査票を取り過ぎていた地域の回収を減らし、足りなかった地域の回収を増やすことに成功！

